

令和4年4月30日

各位

株式会社 徳  
ノリックス有限会社・有限会社和公  
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

4月も終わりとなり新緑の眩しい、1年で一番過ごしやすい時期を迎えます。

今年も4月から大リーグのシーズンが始まり大谷翔平選手の活躍を日々興味深く注視しています。

その大谷選手が花巻東高校生だった当時に監督から勧められて「目標達成シート」というものを書いていたという話はとても有名でテレビで見られた方もいると思います。高校1年生の時に「ドラフト1位で8球団の指名を受ける」という目標と、そこに至るまでの行動を書き込み、地道に実行して目標を達成し、日本ハムに入団してからも5年間の間、さらなる別の目標を立てて自身を磨いていました。

その目標達成シートを考えたのが私の阪南高校時代の先輩の「原田隆史」という方で現在は人材教育の会社を作り、ユニクロなどの大企業を中心に人材の教育指導をされています。彼は住吉区出身で奈良教育大学を経て西成区の松虫中学の教員となりました。当時の松虫中学は生徒数1600人の荒れたマンモス校でした。彼が初登校の時に3階の窓から椅子が飛んできたり、校舎のガラスを割ったり教室にペンキを撒いたりすることが日常茶飯事だったそうです。

しかしながら彼は自分でできることを通して生徒の生活態度を直そうと毎朝正門に立って服装をチェックし、反抗する生徒には真正面から向き合い、そのことで少しずつ学校全体が良くなってきました。

ところが彼が教師になって3年目の25歳の時、受け持ちの生徒が両親に殺されるという事件が起きました。これをきっかけに、この中学は再び大きく荒れるようになりました。多くの教師がストレスや身の危険を感じて学校を辞めていきました。彼も円形脱毛症にもなり、自身の限界を感じて学校を辞めようと思っていたら彼の母親が黒のマジックペンを持ってきて髪が抜けた箇所を塗り始めて涙を流しながら言いました。「あなたは教師を辞めようとしてるんやろ。顔に書いてある。そやけど辛いからといって仕事を変えても新しい芽がでるのか？ 自分を変えん限り仕事を変えても一緒や！」その母親の一喝で彼は覚醒し、決意を新たにして「時を守る、場を清める、礼を正す」という成長のための3原則を作り、清掃活動や靴を揃えるといった教育を徹底し、生徒に目標をきっちり定めさせ、その目標達成のための行動計画を立て、それを実行し、日記をつけることを通じて荒れた松虫中学を13回も陸上日本一に導くカリスマ教師になりました。私は大谷選手の活躍を見るたびにこの話を思い出します。

#### 【徳の経営理念】

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

#### 【徳のモットー】

「一膳入魂」～うまい料理は世の為、人の為～

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々